



平成27年度

学校説明会

横浜市立白根小学校

平成27年度の白根小学校では

- ① 学校・保護者・地域が一体となって子どもを育てます。
- ② たくさんの人とふれあい豊かな心を育てます。
- ③ 学力の向上に努めます。
- ④ 本物の体験を多く取り入れ、子どもの可能性を伸ばします。
- ⑤ 特別支援教育・児童指導の充実を目指します。
- ⑥ 学校評価の結果を生かして、改善を進めます。

① 学校・保護者・地域が一体になって 子どもを育てます。

□ 保護者との連携を進めていきます

◎ 3学期制の導入します。（短いスパンで情報を共有するため）

- ▶ 家庭訪問や個人面談（7月と12月）を全員行います。（7月 高学年は三者面談）
- ▶ 授業参観・懇談会を毎学期行うと同時に懇談会の充実を図ります。

**※直接話し合う機会を増やすことで顔の見える関係、保護者と情報を共有し、共に
子どもの成長をより支援します。**

① 学校・保護者・地域が一体になって 子どもを育てます。

□ 情報共有

◎ 学校便りでの情報共有ホームページの充実

□ 地域との連携

◎ 地域コーディネータ「しらねっ子サポーターズ」

- ▶ 全校遠足にて、交差点での安全確保。
- ▶ 6年生の鎌倉見学のサポート
- ▶ 食育を中心にした栽培活動

◎ 学校運営に対する地域の方からの意見を聞く「ゆりの木会」



②たくさんの人とふれあい豊かな心を育てます。

□ 白根なかよし委員会の活動

- ▶ 児童が心豊かになるために年2回話し合いを行います。
- ▶ 学校だけでなく地域の人にも挨拶できる子を育てます。

□ たてわり活動の充実

- ▶ 異学年集団の中で自分の役割やよさを発見します。
- ▶ 異学年集団の中で思いやりや優しさを育てます。
- ▶ だれとでも力を合わせて活動できる子を育てます。

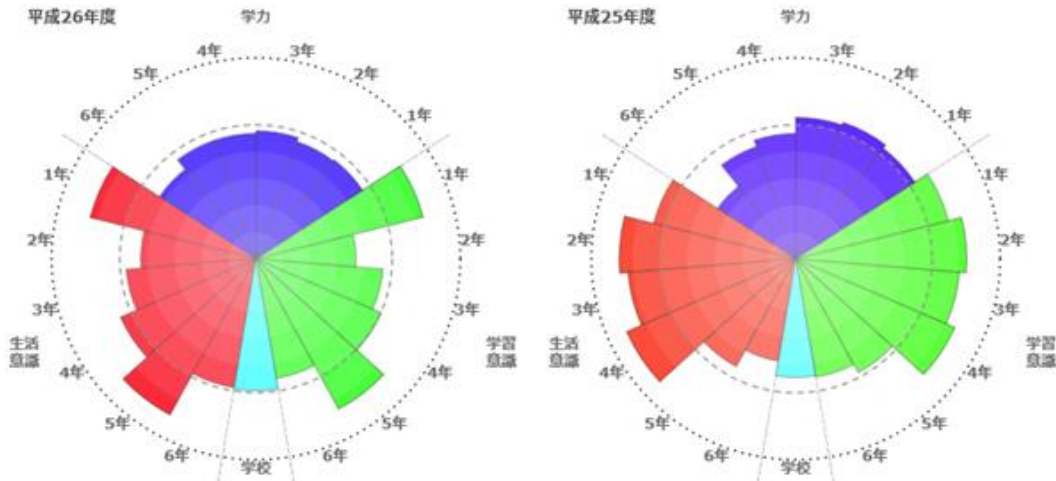


③学力の向上に努めます。

横浜市立 白根小学校

- ・平成26年度調査：平成27年2月5日（木）、6日（金）実施
- ・平成25年度調査：平成26年2月6日（木）、7日（金）実施
- ・1年：99名 2年：101名 3年：104名 4年：100名 5年：92名 6年：94名

▼チャートの各学年をクリックすると詳細が表示されます



- 基礎基本の定着のために、スキルタイムの徹底をはかります。
- 1～3年生、4～6年生で使用する漢字ドリルを共通化し、取り組みやすくしていきます。
- 一人ひとりの学習状況をよくみとり、支援の充実をはかっていきます。
- スキルプリントやテストのファイリングをし、学力定着状況の把握にかします。

③学力の向上に努めます。

- どの教科においても、毎時間の「めあて」を提示します。
- 授業の終わりにはわかったことをまとめる場をつくり、学ぶ楽しさに気づくことができるようにします。



③学力の向上に努めます。

- 子どもが考える時間をつくり、授業に参加できる支援に力を入れます。
- 子ども同士が考えを出し合い、よりよい考え方を導き出すような授業を目指します。



④本物の体験を多く取り入れ、 子どもの可能性をのばします

- 系統的に発達段階をふまえて、栽培活動、食育を大切にした体験活動を行います。
- 本物のよりよいものにふれる体験・出前授業の活用
 - お魚学習会（5月） バレエ教室（1 1月） 音楽指導（プラットホーム）（3年）
 - しょうゆ教室（3年） 水道教室（4年） プロジェクト学習（6年）

⑤特別支援教育・児童指導の充実をめざします

- 特別な支援が必要な子どものおよさが認められ、安心して学校生活を送ることができるよう全職員で理解に努め、支援していきます。
- 職員間や学校間で情報を共有し、相談機能の強化を図り、課題の早期発見・早期解決に努めていきます。

⑤特別支援教育・児童指導の充実をめざします

- 小さなことかもしれませんが
 - ▶ 下駄箱の靴の入れ方
 - ▶ 教室移動時の廊下の歩き方
 - ▶ 教室を空けるときの机上の整理など

※みんなが安心して学べる学習環境の整備にも

力を入れていきます。



⑥学校評価について

□ 年間を通して学校評価をしていただき、今後の教育活動に生かしてまいります。

本年度は

- ①運動会（学校行事の評価）
- ②授業参観・懇談会（授業の評価、生活の評価）
- ③子どもたち（授業の評価、生活の評価）
- ④地域の方から（教職員の自己評価、評価結果の分析に対する評価）
- ⑤近隣校から（小中一貫の相互評価）

※自律的・組織的な学校運営に資する実効性のある学校評価研究校

【文部科学省指定】